

平成二十九年 論語に学ぶ人間学セミナー

好評を受けて今年で九年目に入った論語セミナー。昨年も使用していた「仮名論語」に加え、「図解論語 正直者がバカを見ない生き方（齋藤孝著）」をテキストに学んでおります。後半の講義は、憲法について学ぶセミナーとして十二月までの講座となっています。いつからでも参加できますので、龍野商工会議所のHPや本誌折込みチラシにて申し込みください。

人間学セミナーも今年度7回目となります。はじめは仮名論語の素読となります。参加者全員が姿勢を正し、朗読していきます。会場全体がピシッと引き締まった雰囲気となり、学びの姿勢を体感できます。三木英一先生からも、『よく声が揃っていますね』とお言葉をいただきました。

■仮名論語 述而第七

しのたま じんとお われじん ほつ ここ じんいた
子曰く、仁遠からんや。我仁を欲すれば、斯に仁至る。

先師(孔子)が言われた。「仁は人が生まれながらに与えられているもので、遠くに求めるものでない。従って仁を実践しようと思えば、仁は直ちに実現されるであろう」何事も自分自身の中の前向きな心と、その心に応じてすぐさま実践していく行動力が一番大事だということかと感じました。他人の良いところを羨むばかりでは手に入りません。論語の中には『仁』という言葉が非常に多く出てきますが、一言では言い表せない非常に深い言葉です。

■「図解論語 正直者がバカを見ない生き方」(齋藤 孝著)

第三章 学び編 (その三) 第四章 生き方編 (その一)

性、相近し。習えば、相遠し。

自分の中にあるスイッチをオンできるか、否か。人間は本来(性)、互いに似ていて近いものだが、その後の環境や状況(学びの有無)により善にも悪にも遠くへだたる。人間学セミナーの三木先生の講話や一緒に学ぶ方々との交流で、自分のスイッチをオンにし、前向きな生き方をしていきたいなと毎回思います。

■講話 「緊急事態の対処規定」

世界各国の大災害時における憲法規定事例をご紹介します。今の日本国憲法では実際、東日本大震災時さまざまな憲法上の問題があったようです。将来起こりうる大災害に備え、これまでの経験と世界の事例を踏まえて、より人命尊重を重視した憲法の見直しが必要であることは間違いありません。

人間学セミナーは自身を磨く為の良い機会になると思います。皆様のご参加お待ちしております。
次回 第8回は、十月十一日(水)午後六時三十分からです。